

報道各位

# 《デザート、みんな大好き！！》

## ～デザートに関する調査より～

**家族団らんのデザートは「ケーキ」「くだもの」「和菓子」**  
**デザートフリークは50代以上の女性**  
**人気のデザートは「シュークリーム」「カスタードプリン」「生チョコ」**  
**人気フレーバーは**  
**「いちご」「みかん」「ピーチ」「チョコレート」**

(株)日本能率協会総合研究所(社団法人日本能率協会グループ)の運営する情報提供サービス機関マーケティング・データ・バンクでは、1200サンプル規模(女性800人・男性400人)にて首都圏在住する15歳～65歳を対象に「デザートに関する調査」を実施いたしました。

### 《果物、ヨーグルト、プリン・ゼリー類、和洋菓子の食用実態》

デザートをくだもの、プリン・ゼリー、ヨーグルト、アイスクリーム・シャーベット、ケーキ・洋菓子、和菓子の6カテゴリーに分け、食べる品目・頻度・時間帯・場面など、食用実態を調査し、デザートのポジショニングを分析しました。

### 《どんな味が好まれているのか、フレーバーの嗜好データ》

61種類の果物や食材<フレーバー>について、好きなもの・健康や美容によさそうだと思うもの・アイスクリーム等で食べたいもの・ゼリーで食べたいものをきき、各フレーバーのイメージを検証しました。

その他、目新しいくだもの、デザートの習慣・考え方など、デザートについて多面的に調査を実施し、性・年代別、ユーザー度合い別に総合的に分析を行いました。

今回はその中から「デザートライフ」「デザートフリーク」「人気のデザート」「人気フレーバー」に焦点を当ててご報告いたします。

### [ 今回の調査の概要 ]

本調査は、弊社自主企画による調査に複数企業にご参加いただく方式で実施いたしました。

調査は終了しておりますが、調査結果一式のご提供は下記費用を申し受けます。

- ・ 費用：1社につき定価36万円(MDBメンバーは32万円) \*別途消費税を申し受けます。
- ・ 調査対象：首都圏(一都三県)在住の15～65歳の男女
- ・ 調査方法：日本能率協会総合研究所「J-FAXリサーチ」システム利用によるFAX調査
- ・ 有効回収数：846サンプル(発送数1,200サンプル 回収率70.5%)
  - 女性583サンプル(発送800サンプル、回収率72.9%)
  - 男性263サンプル(発送400サンプル、回収率65.8%)
- ・ 調査実施日：2000年2月22日(水)～3月1日(水)
- ・ 調査のアウトプット： 調査報告書 (A4版/57ページ)  
集計結果表 (A4版/843ページ)

## 家族団らんのデザートは 「ケーキ」「くだもの」「和菓子」

デザートの6カテゴリごとに女性のデザートライフをまとめてみました。「くだもの」は食後、「ケーキ」「和菓子」「プリン・ゼリー」は甘いものが食べたいときのデザートという位置づけのようです。また家族団らんの場面では「ケーキ」「くだもの」「和菓子」、栄養バランスを考えたときには「ヨーグルト」「くだもの」が登場するようです。

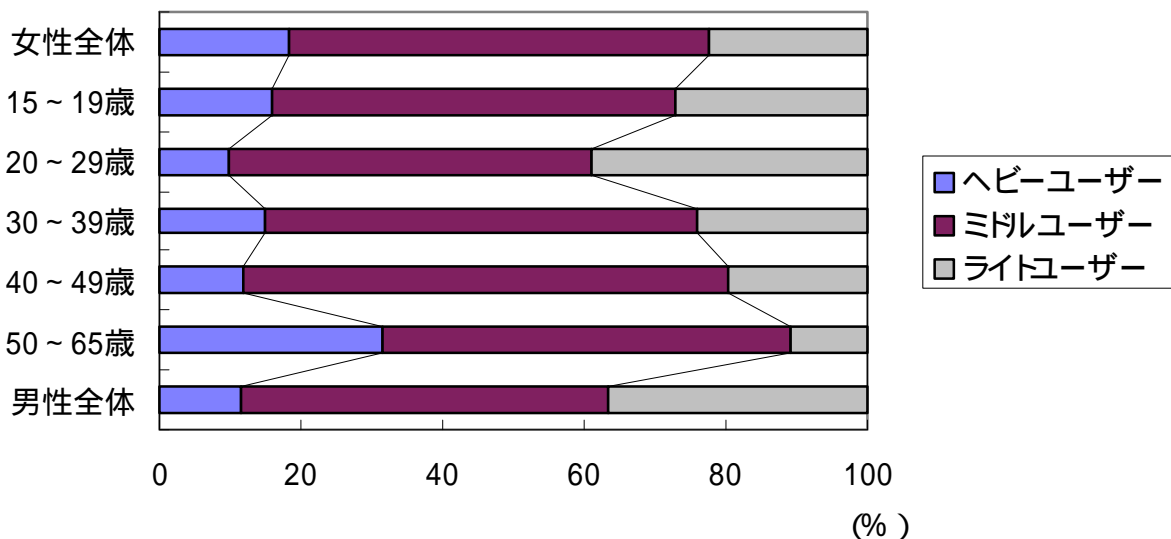
### 女性のデザートライフ

	食用頻度 (週当たり)	時間帯	場面
くだもの	6.2回	夕食の食後 朝食時	食後のデザートとして 季節/家族団らん/栄養バランス
プリン・ゼリー	1.3回	3時のおやつ	甘いものが食べたいと思ったとき/ 食後のデザート/店頭で見かけて
ヨーグルト	3.3回	朝食時	栄養バランスや健康を考えたとき/ 食後のデザート
アイスクリーム	1.1回	3時のおやつ 夕食の食後	暑いとき/甘いもの/お風呂上りに/ 食後のデザート
ケーキ	0.7回	3時のおやつ	甘いもの/お茶やコーヒーと/外で お茶/家族団らん/もてなし/食後
和菓子	1.0回	3時のおやつ	甘いものが食べたいと思ったとき/ お茶やコーヒーと/家族団らん

## デザートフリークは50代以上の女性

6カテゴリごとの食用頻度をスコア化して足し合わせ、デザート全体の食用頻度を算出してみました。「ヘビーユーザー」(何らかのデザートを週に21回・1日3回以上食べている人)は、女性全体では2割弱に過ぎませんが、50代以上の層は3割を超えます。これに「ミドルユーザー」(週に14回・1日に2回以上)を足しあわせると、女性全体の8割は日に2回以上デザートを食べています。特に50代以上の層は9割が「ミドルユーザー」以上となります。以下、40代、30代、10代と続き、20代が女性の中では食用頻度の低い層で、男性全体とほぼ同じでした。

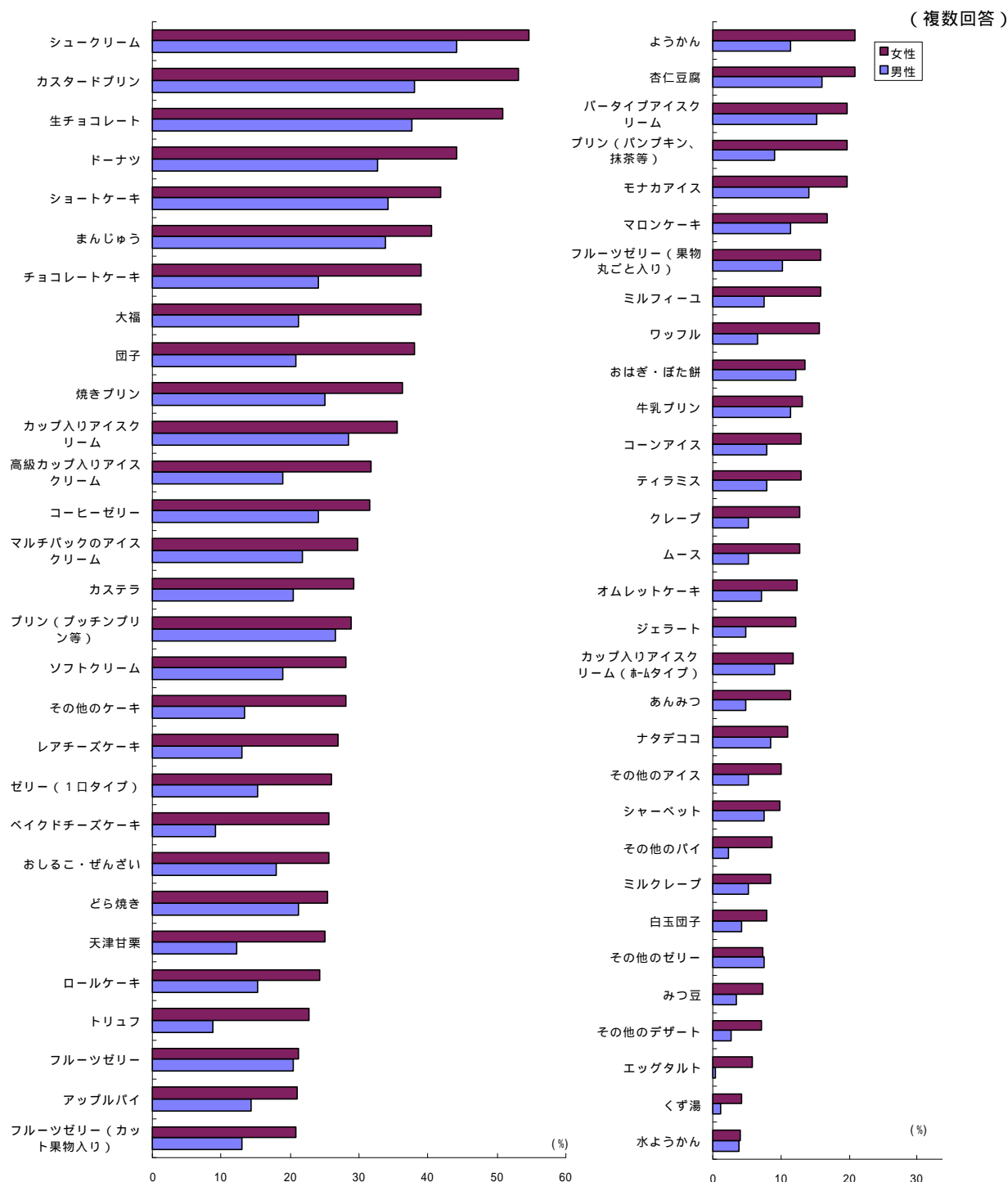
食用頻度から見たデザート全体のユーザー度合い



# 人気のデザートは「シュークリーム」 「カスタードプリン」「生チョコ」

1カ月以内に食べたデザートの種類を聞いたところ、「シュークリーム」「カスタードプリン」「生チョコ」は過半数の女性が食べていました。以下、「ドーナツ」「ショートケーキ」「まんじゅう」「チョコレートケーキ」「大福」「団子」と続きます。男性についても、全体的には女性より少ない比率ですが、様々な種類のデザートを1カ月間に決して少なくない人数が食べています。調査時期から、バレンタインデーなどの影響で、チョコレートものの回答が高いものと推測されます。

1カ月以内に食べたデザート



「くだもの」「ヨーグルト」を除く 59 品目で集計しました。

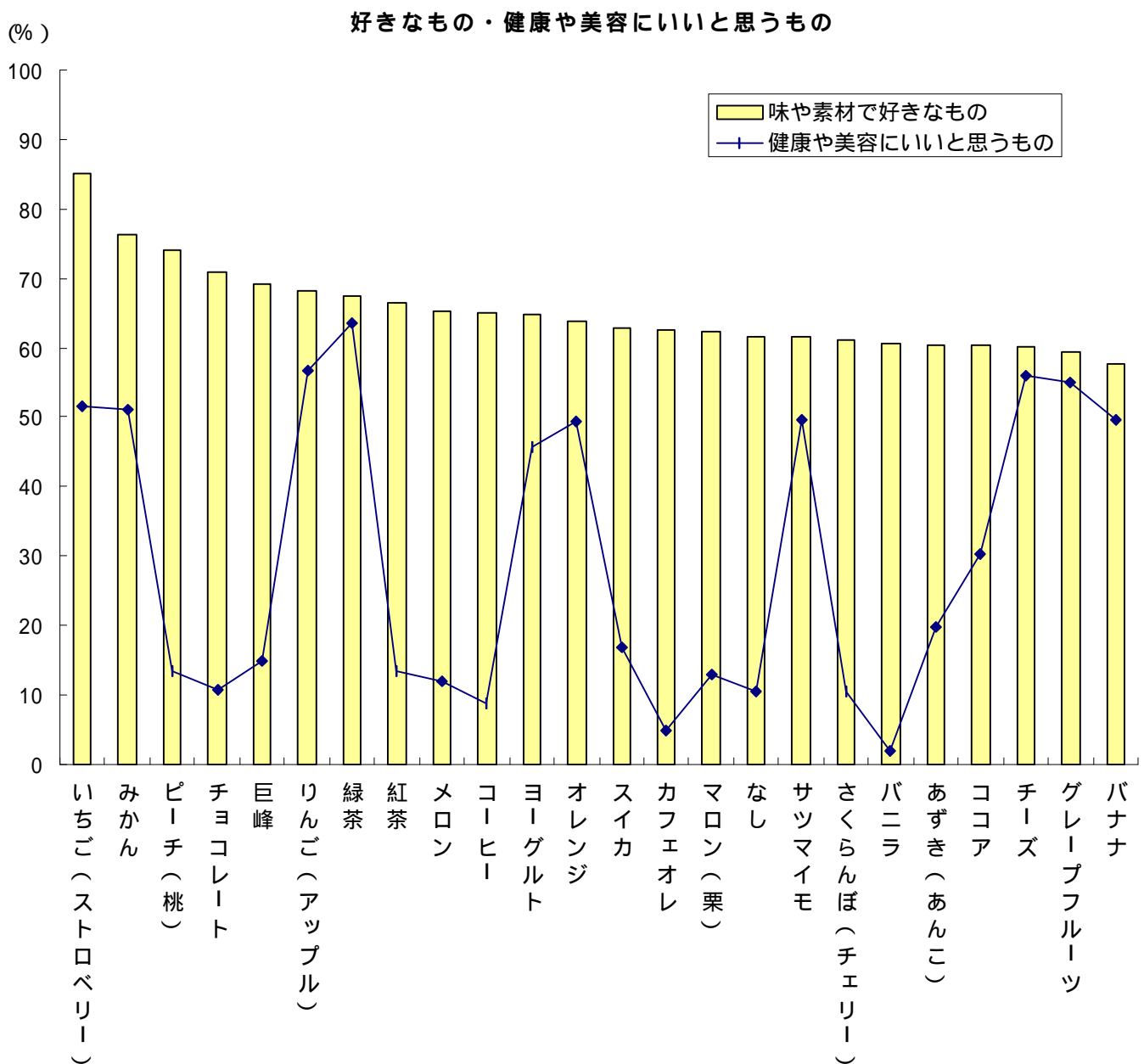
# 人気フレーバーは 「いちご」「みかん」「ピーチ」「チョコレート」

61種類の果物や食材<フレーバー>をあげ、好きなもの・健康や美容によさそうだと思うものを聞いてみました。

女性全体の7割以上が好きと答えたのは、「いちご(ストロベリー)」「みかん」「ピーチ(桃)」「チョコレート」の4種類、以下「巨峰」「りんご(アップル)」「緑茶」「紅茶」「メロン」「コーヒー」と続きます。

年代別に見ると、10代女性の「ピーチ(桃)」、50代以上女性の「みかん」「緑茶」「あずき(あんこ)」の回答率が他の年代と比べて高いのが特徴的でした。

また、下記グラフの好きなもののベスト24のうち健康・美容イメージが比較的高いのが、「緑茶」「チーズ」「りんご(アップル)」。ランク外で「好き」より「健康・美容」が大幅に高かったのは、「プルーン」「レモン」「ごま」「アロエ」「梅」「アセロラ」「ざくろ」「かりん」でした。



**[ マーケティング・データ・バンクとは ]**

マーケティング・データ・バンクは、社団法人日本能率協会グループのシンクタンク、株式会社日本能率協会総合研究所(略称:日能総研 社長:栄 武男 本社:東京都港区)の運営する、国内最大級のメンバー制ビジネス情報提供サービス機関です。

開設以来30年近く、日本を代表する様々な業種の企業約2,000社の企画/調査/営業/技術部門の方々にご利用いただいております。官庁統計、公開調査資料、業界紙、各種民間企業発表資料など約12万冊の蔵書を有し、独自の検索システムを構築いたしております。

各種業界事情に通じ検索手法をマスターしたスタッフにより、さまざまなビジネスデータを提供することが可能です。

電話1本で必要な情報を入手できるシステムとして、年間約12万件のメンバー企業のお問い合わせに的確、迅速に対応し、情報収集のパートナーとして高い評価をいただいております。

**[ 本件についてのお問い合わせ先 ]**

(株)日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク

担当:土井/進士/渡辺

電話:03-3578-7556

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル4F

**本件引用の際は、お手数ですが、上記あて掲載紙をご送付ください。**